

2022年度 放課後等デイサービスハグ 事業報告

1. 事業目的・経営方針

2022年度4月に開所し、スローガンを「ハート豊かなグッドな毎日」とし、児童の個性を生かし、特技を見つけ豊かさを育めるよう、利用者とその家族が安心できる場の提供に努めた。

2. 組織体制

【Ⅰ】利用定員

事業所名	定員	対象障害	対象年齢
放課後等デイサービス ハグ	10	重度心身症 以外	就学児

【Ⅱ】職員構成

職員数7名（正規職員6名 非常勤職員1名）2023.3.31

管理者（心理師）	※1	児童発達支援 管理責任者	1	児童 指導員	2
保育士	1 (1)	心理担当職員	1		

() 内数は非常勤職員

※ 兼務

3. 営業時間

【営業時間】※ () 内はサービス提供時間

月曜日～金曜日 9:30～18:30 (14:00～17:30)

第3土曜日・祝日（不定期） 8:30～17:30 (9:00～15:00)

※第3週土曜日には中高生以上を対象とした活動を実施予定し、それに伴い第4月曜日を休所とした。

4. 事業概要

定員10名に対して、学校終了後に送迎を行い、月曜日～金曜日毎にグループを分け、基本的な生活動作、また集団生活への適応を図り、SST 小集団活動、個別学習等を実施した。また、祝日希望者を募って平日では行えない親子療育と保護者向け研修会を開催した（11月26日）。また毎月第3週土曜日の療育においては、中高生以上を対象として自立に向けた活動を取り入れた。

(1) 契約者数 (2023.3.31)

	小学生	中学生	高校生
契約者総数	33	7	2
医療的ケア児	0	0	0
措置児童	1	0	0

計 42名

(2) 年間実績 (延べ人数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
149	147	191	177	173	194
10月	11月	12月	1月	2月	3月
182	180	174	150	182	195

計 2094 人

(3) 主活動・行事関連

- 1 個別学習
- 2 集団活動 (SST・サーキット・フィールドトレッキングなど)
- 3 公共施設の利用 (図書館や環境センター訪問、公共交通機関の利用、買い物体験など)
- 4 クッキング
- 5 製作活動
- 6 地域行事への参加 (オリーブの木の子ども地域食堂ポパイへの参加など)
- 7 その他、季節に合わせた内容を盛り込む (水遊び、遠足など)
- 8 祝日の親子療育の開催

5. 職員処遇

【I】職員研修

- 1 こども総合療育センターや熊本県南部発達障がい者支援センター主催の研修へ参加。

6. 権利擁護

権利擁護及び苦情解決体制

- 1 2022年度の苦情報告なし
- 2 人権擁護のためのチェックリストの実施
- 3 保護者からの施設評価を行いホームページに掲載
- 4 「センター長直行便」を用い、毎月の職場の改善や要望等を自由に発言できる機会を設ける (web アンケートを使用)

7. 危機管理

【I】防災訓練

- 1 消防計画を元に毎月の避難訓練に加え同施設の別事業者協力の元防犯訓練を実施した
- 2 月1回の職員会議に事故防止委員会を設け、該当月のヒヤリハット事案を作成する。

【II】事故防止

月に1度事故防止委員会を開き、ヒヤリハット事案の見直しを行い再発防止の為の改善案の検討を行った。
また虐待防止の観点から合わせて虐待防止委員会を開催し、子どもの様子観察も含めてチェックする事とした。

(2022.4.1~2023.3.31)

環境的な要因	15件
怪我 (受診までは至らない)	17件
怪我 (数日間の治療・通院)	0件
虐待事案	0件

8. 地域交流支援

□ 職員派遣

(管理者) 水俣市乳幼児発達相談事業たんぽぽ、芦北町乳幼児健康相談事業、人吉球磨・山江村・相良村、人吉市、発達相談事業の心理士、水俣市自立支援事業連絡協議会(子ども部会)委員、水俣・芦北地域自立支援協議会委員、芦北町要保護児童対策協議会委員、水俣・芦北圏域障がい者総合支援協議会委員、水俣市子ども子育て会議委員、他研修等の講師等

9. 施設整備

・エアコンの取り付け工事：4月(シーズン契約)

10. その他

後援会組織

ひかりどうえんを支える会

12月に資金援助をいただき、エアコンの取り付け工事(購入)を行った。